

## 9月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和5年9月1日(金)

午前9時30分～

地域交流センター第3・4研修室

出席委員 職務代理 小山正文 委員 高野羊子  
委員 宮下温子 委員 小松小百合  
出席職員 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 伊藤尊夫  
筑北中学校長 臼井伸明 教育長 加瀬浩明  
次長 臼井太津男 主任 高野智弘

### 一 開会(臼井教育次長)

令和5年9月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしくお願ひいたします。

### 二 教育長挨拶(加瀬教育長)

**教育長:** 連日暑い日が続いております。暑い状況の中ですが、保育園では計画通りの保育が行われております。小中学校では2学期が始まり、いろいろな行事等も行われるところでもあります。

具体的な数字は分かりませんが、新型コロナが出ているという話を聞きます。学校において広まる可能性がありますので、十分注意をしていかなければならないと思っていますところ。日常的に取り組んでいますが、更に気を引き締めていただいて感染予防をよろしくお願ひします。特に少し熱がある状況で、学校や保育園に来るような状況が一番危惧されるところでもあります。体調が悪かったり微熱があったりするような場合は無理せず休ませるような対応でお願ひします。以上でございます。

### 三 報告

#### 1) 教育長報告

**臼井次長:** 報告事項に移ります。教育長報告をお願ひします。

**教育長:** 8月28日に市町村教委連絡協議会がございました。県の教育委員会からも伝達事項がありました。今年度教職員の非違行為特に処分案件についてはありませんでした。数年前にあった、飲酒、酒気帯び等の道路交通法違反に関わる場所はなしということでございます。ただ、教職員が加害となる交通事故については軽微なものから大きな事故まで含むところであり

ますが、7月までに13件確認されているということでした。特に先生方をお願いしたいのは、事故を起こしたときの対応に関して、それぞれ学校でまた確認をお願いします。また、スピード違反や、いろいろな道路交通法違反について無いようにお願いいたします。

それから体罰であったり性暴力であったりセクハラパワハラ等に関してもお話がありました。それぞれ相談窓口をしっかりと設けてくださいということでありました。

これから特に中学校では進路に関わって個人情報のやり取りが出てきます。中学校に限りませんが、個人情報に関する管理をそれぞれ徹底するようということでありました。

それから教職員の働き方改革ということになりますが、推進の取り組みについて、学校のホームページで周知するようにとの指示がありました。しかし小学校中学校の学校ホームページというような形にしていませんので、村のホームページの中に学校の部分をきちんとした形で作っていかなければいけません。こちらでまた考えます。

それと人事異動方針についての説明がありました。それぞれ校長先生において推進していただくことになりますが、そういう時期が来たということでもあります。

このように暑い時期でありますので、特に学校事故の中でも熱中症等については十分注意をしてほしいということでした。新型コロナウイルス感染症に関しては5類ということではいろいろな行事等も通常通り行われるようになって来ています。しかしながらコロナがなくなったわけではないのでその感染予防をしなければ感染してしまうということは十分考えられます。対策をしっかり取って行事を進めていただきたいということでありました。

教職員の健康管理については、それぞれ学校保健委員会の中で対応していただいていると思います。先生方もだいぶこういった状況で疲れているので、健康管理に気をつけていただきたいと思います。状況等を確認していただきながら、また面談等を含めて先生方が相談できるような体制をしっかりとっていただきたいと思います。

それからSNSの利用に絡んだ非行犯罪等が出ています。気をつけたいところでもあります。あと自転車での事故等も管内だけではないのですが、県内で子供たちの自転車事故が報告されているようなので、十分注意をするとともに通学路に関わる安全確保について指導がありました。

これから教職員の評価等が始まるところであります。校長先生方と相談をさせていただきながら、確実に決められた業務についてできるようにしていきたいと思います。伝達事項はそういったところでもあります。

9月の行事の予定等を書いてあります。議会が5日から始まります。そ

こで教育委員会の部分に係る質問について生成 AI の活用に関して出てきています。それから現在筑北村と連絡を取りながら施設見学について調整をしているところであります。私からは以上でございます。

**白井次長:** ただいまの教育長報告についてご質問等ありますか。

**白井次長:** 続いて子育て支援コーディネーター報告に移ります。

## 2) 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

**高野CO:** (以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:** 只今の子育て支援コーディネーター報告についてご意見等ございましたらお願いします。

**白井次長:** それでは続いて保育園長報告に移ります。

**塚原園長:** (以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:** 只今の保育園長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

**白井次長:** それでは続いて小学校長報告に移ります。

**伊藤校長:** (以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:** 只今の小学校長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

**白井次長:** 続きまして中学校長報告をお願いします。

**白井校長:** (以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:** 只今の中学校長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

**白井次長:** 以上で報告を終わりにします。協議事項に移ります。

## 四 協議事項

### 1) 保育園・児童クラブ 第三者評価事業について

**教育長:** 保育園・児童クラブの第三者評価事業について資料を入れてございます。第三者評価を実施していかなければならないということに関しては、前回お話をさせていただきました。具体的に第三者評価を取り入れているところが近隣でまだあまりありません。ただ筑北村がやっております。情報をいただき村長とも相談しながらどういったメンバーでというところから、そしてどういった内容でというところを、さらに先ほどもありましたけれども、小中学校の評価をどうしたらいいかというところも検討を始めた

ころであります。現状で筑北村の状況や第三者評価に関して、次長に確認をしていただきましたので、資料について次長からお願いいたします。

**白井次長:** 第三者評価とは提供する福祉サービスの質の評価を行うこととなります。ここでいう福祉サービスについては保育園と児童クラブということが福祉サービスにあたります。常に福祉サービスを受ける者の立場にたって、良質かつ適切な福祉サービスを提供するように努めなければならないという部分が根拠法令になっております。社会福祉法の78条第1項ということになっております。実際にこの評価がどのように行われるかというところですが、基本的に専門の評価機関が行います。これは特に主として都市部で行われている部分であります。またそれとは別に市町村における第三者評価組織を作って評価するという部分もあります。専門の評価機関で行う部分のフローというような形の仕組みですが右のページにある、長野県における福祉サービス第三者評価事業制度の仕組みということで、図をつけさせていただきました。この真ん中の網掛けの部分が実際の評価機関ということになります。評価方法としましては保護者(利用者)アンケート、職員アンケート、評価機関からの質問シート、評価機関からのヒアリング、保育園・児童クラブへの実施訪問と内部調査というような形が行われるのが一般的ということになります。評価結果の公表につきましては、保護者通知あるいはホームページなどで公表することになります。それにより保育園や児童クラブが運営における具体的な課題を把握して、更なる質の向上につなげていくというようなことでもあります。

ただ、評価機関に委託するとなるとそれ相当に大きな金額が必要になってくるということもありまして現在の中では努力義務の範囲を出していないということもあって各近隣でも広がっていないというような状況であります。

先ほど教育長から近隣の第三者評価組織ということで筑北村の話がありました。筑北村につきまして説明をさせていただきます。

筑北村の保育園の第三者評価委員会は平成29年ごろに立ち上がりました。目的は同じですが、筑北村の場合は保育園のみということで児童クラブは含んでおりません。保育園評価の客観性透明性を高めるため自己評価および利用者評価を検証し、第三者による評価を行い経営の改善、保育力の向上、開かれた保育園作りを推進するというものを目的として立ち上がっております。委員は、保育士それから幼稚園教諭の養成校の教員、いわゆる大学短大専門学校先生となります。それから自村以外の保育園長の経験者となります。あと保育園の運営、幼児の育成に関わりのある者等ということで、基本的には自村の方ではない部分をお願いをしているというところでもあります。委員の職務としましては、訪問や参観による実態把握、自己評価および利用者評価が適切に実施されているか検証、改善に向けた

取り組みが適切か検証、それから保育活動や経営状況の総合的な評価というようなことです。以上よろしく申し上げます。

**教育長:** 第三者評価について筑北村が実施をしていますが、周辺では手が付いていない状況で、なかなか進んでいないところでもありますけれども、本村においては何とか第三者評価を実施したいということで議会でも出されました。どこでもやらなければいけない方向になるだろうと思います。準備を進めたいと考えています。まだ準備段階であります。委員等も含めて具体的なことを今考えているところでもあります。委員の皆様から今あった説明の中で、何かございましたら申し上げます。基本的には保育園と放課後児童クラブのところの第三者評価ということになります。いずれ小中学校も同じような形でやっていくことがいいたらと思います。ご意見をいただければと思います。

**白井校長:** どういう費用がかかるのですか。

**白井次長:** 基本的には評価をする専門的機関になります。その専門業者さんの委託費用です。40～50万の費用になります。

**白井校長:** これから義務化に向かって行きますよね。

**白井次長:** 基本的に法で決まっている中で、福祉サービスの第三者評価事業の対象福祉サービスと言うことで、保育所および放課後児童クラブという部分が含まれています。元々保育園の部分につきましては、以前からありました。放課後児童クラブが令和3年くらいにガイドラインが示されました。

学校の場合は保護者等からのアンケートを実施して評価の声をいただいています。保育所放課後児童クラブについては今のところ麻績村はアンケートを取っていないというところもあります。なので、筑北のように保育園だけを取り上げるのではなくて、同じ福祉サービスの中で児童クラブも合わせてということは、思っています。

**教育長:** 長野市の場合は、通学区の中から各学校で学校評議員という形のお願いと、それ以外でお願いをして評価をしていただくことをしていました。この中で評価をしていただく方を決めればいいのかと思います。今人選も含めて、こちらで少し案を出させていただきます。大学やあるいは外部機関の団体や先生であるとか専門家を入れることも大事かなと思います。それでは準備をさせていただきますがよろしいでしょうか。はい、ありがとうございました。

## 2) 児童クラブ 視察について

**教育長:** それでは続いて児童クラブの視察についてお願いいたします。

**白井次長:** 各施設の視察の中で児童クラブはなかなか実施できていませんでした。小松委員から児童クラブの視察をぜひということでお話を受けました。児

童クラブについてはほぼ毎日動いているので実施日を決めて実施したいと思います。

**教育長:** それでは皆さんどうでしょう。児童クラブの見学についてこちらで日程を示させていただいて、連絡させていただきます。校長先生方もおいでいただいた方が良いでしょう。それでは、進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

### 3)生成 AI(チャット GPT) の活用について

**教育長:** 生成 AI(チャット GPT)の活用についてということですが。ここに来て、急速な普及で、文科省も急遽暫定的なガイドラインを出しました。急に普及をしてきて、特にこの夏休みあたりでまた子供たちがそこに関わっているというような話も聞いています。まだまだどんな方向で扱っていかばいいかというのは、メリットデメリットがありますので、見極めていかなければいけないというような状況です。まずは、それぞれ学校で情報があれば、教えていただきたいと思います。

**白井校長:** 自分の関わっている英語では、高校生の英作文コンテスト等は、自分の力で出さなくなっているのでコンテストをやめましょうという話になってきているようです。

**教育長:** 利用に関して、それぞれ子供たちへ文科省では実際に指導のポイント的なものを出してはいるようですが、それを子供たちに配布したとか指導したということはあるですか。

**白井校長:** していません。

**教育長:** いずれにせよメリットデメリットをはっきりさせていくことが一つと、それから実際に感想文などを書く場合にそういったもので代用してしまうようなことは駄目ですよということを文科省がやっと急遽暫定的なルールを示したところなです。そのルールを先生たちで共有していただいて、子供たちに指導といいますか、先回りして対策を考えておいていただくことをお願いします。また校長会等で話題が出てくるのではないかと思います。アンテナを高くしておいてください。

これで議会には現状ではまだ子供たちにそういう指導をしていない。また、急速に発展をしているので校長会においても、メリットデメリットについて検証しながら、各学校でそれぞれ指導をしていきたいというようなことを検討していくところと回答します。何か学校で動きがあったり、校長会で何か出たものがあったりしたら教えていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。 それでは協議事項は以上とさせていただきます。

## 五 その他

## 1) 各委員から

**教育長:** 各委員さんからございますか。

**小松委員:** 夏休みの児童クラブの状況をお願いします。

**高野CO:** 児童クラブですけれどもやはり今年の夏は暑かったということで、室内で過ごすことが多かったです。室内でブロックとか友達同士で何か工作をしたりしながら過ごしていたというような状況です。それから7月27日に牛乳パックを材料とした紙すき体験を行いました。7月の利用者が平日312人で、20日間開所で平均15.6人となります。

**小松委員:** それに対して職員数は足りていましたか。

**白井次長:** 休みのときは日にちが長くなるので、臨時的にお願いして総務課付職員にも多く入ってもらったり、小学校の支援員の方にも入っていただいたりして対応しました。大変ありがたかったです。

**小松委員:** 中学の聖山登山ありがとうございました。すごく良い経験でした。参加させていただいて、子供たちの様子を見ることができました。毎年子供たちにこのような経験をさてあげられたら良いと思いました。

**宮下委員:** 長い夏休みが終わって2学期が始まったところで小中学校ともに子供たちは意欲を持って新学期を迎えていますか。

**伊藤校長:** 概ね良いスタートが切れています。

**白井校長:** 中学校も良いです。

**宮下委員:** 小学校の施設部会がありました。検討する話が2点ありました。村で毎月5の日にGOGO!歩こうの日に安協さんに立っていただいています。ノーテレビ、ノーゲームデイということをやっていたこともありましたが、今年度どうしていくか検討してきました。

保護者の方から様々ご意見がありました。時代が変わってきているので検討する時期ではないかと言うことでした。今までずっとやってきたことが、それがいいんだよってということでもないんだなという印象でした。

村の地形も様々で一概にみんな平均して同じことをやることの難しさや、暑い日に熱中症の心配がある中を遠くまで歩かせるのはどうなのかという保護者の意見もありました。これもまた評議員さんにかけて学校側にお話しすることになっています。保護者の方も思っていることが沢山あるんだなと最近キャッチしたところです。

**高野委員:** この田舎に暮らしていて、子供が受験を経験した様子を見ると、なかなか勉強しづらい環境でもあるかなと少し感じています。都市部では勉強勉強と押し込んでいて、塾に通っている様子などを聞くと、「もっと勉強させれば良かった」と思ったんですが、そこはここの環境の難しさかなと思います。わざわざ松本や長野へ塾に通わせるのも一苦勞です。そういうところを考えると、ここなりの学習の方法であったり、先生方には色々考えて

いただいたりしているんだと改めて感謝申し上げます。

**小山職務代理:** 先ほどのチャット GPT の話もそうですが、ここ 20 年ぐらい前からタブレットやスマホやメディアが離せない状況であります。これは受け入れて行かざるを得ないのですが、そこで心配なのが、自分の頭で考えてそれを説明する力というのがどうなってくるのかなと言う気がします。かつてのように、例えば何か調べる時に辞書を引いたり、本で調べたりしていたものが、スマホなどで簡単に調べられることが良いのか悪いのかという判断をどのようにしていくのか今後私たち自身勉強して行かなければならないと思います。

**教育長:** はいありがとうございます。他いかがでしょうか。

**白井校長:** 今暑くなってきて子供たちの夏休み中の居場所というと家を中心です。エアコンがあって、夏休みとは言いながらも、活動の範囲が狭められています。逆に言うと、学校があった方が動いています。今の子供たちって結局行き着くところはゲームとなっています。

思うのは、小学校のプールに屋根をつけたり、空調とか整えたりして、誰でも行けて、もちろん小中学生も行ける。そういう建物があって、そこで半日過ごして隣に児童センターがあって勉強やって過ごせるそのような場所があると良いなと思います。

子供が外に出る機会があんまりなくて、今はやっぱり暑いから出るな。危ないから出るな。麻績川に行けば危険だから行くなという状況です。やはり何かの設定をしてあげないと出来ないようなところがあります。今やはりできるのは金出してもらって、温水プール造ってもらっていつでもプールへ行って遊べるとか、体育館みたいなところへ空調を整えて遊べるようなところがあると良いのかなと思います。

そういうことをやっていかないと子供たちは、ずっと家の中にいて多分エアコンの効いたところで横にごろっとしていて、そうするとおうちの方から「勉強しろ、勉強しろ」って言われて、結局勉強に行くから、子供たちは夏休みが楽しいものでなくなってくるかなって思います。なんか楽しくなるような場所が近場にあって、野球ができたりバスケットボールができたりする場所があれば外へ出る機会が増えるのかと思います。

**高野委員:** 夏休み中子供たちはサマーキャンプ等実施しましたか。

**白井次長:** おみっこ元気くらぶにおいて 7 月 29 日 30 日キャンプを行いました。聖高原で実施し 20 名弱の参加者でコロナ前とほぼ同じ流れでキャンプを実施しました。昼過ぎから集まり、翌日の昼頃に解散しました。保護者の方にも食事の手伝いをしていただきながら実施しました。下学年の児童の参加が多かったのですが、普段通りに何も事故もなく実施できたので良かったと思います。午後から雷があって心配され途中予定を変えながら行いました。それから児童の要望で「スカイライダーに乗りたい」話だったので

時間もあり、余裕もあったのでみんなリフトで山頂まで登ってスカイライダーで降りてきました。みんな楽しくできました。

**高野委員:** コロナの中でも何かそういうことやってもらってありがたいです。今は夏休み中のプールがないので、今度はプールのある所に連れて行っていただいて一所懸命泳いでくるような夏休みのイベントがあるといいと思います。今までやっていたおみっこの行事を継続しながらまた趣向を変えてやっていくのもいいのかなと思います。

**白井次長:** 以前は、ウォーターアドベンチャーといって麻績川で川遊びもありましたが、いろいろな状況でできなくなりました。あとは昔で言えば魚のつかみ取りも夏休みの最初の頃にありましたが行われなくなってしまいました。夏休みの新聞を見ますと、連日地域の話が出ているのを見るとちょっとうちはキャンプだけだったので心苦しく感じました。

**高野委員:** ありがとうございます。通学合宿はこれからですね。

**白井次長:** 9月14日から16日の3日間で行われます。場所はテレワークセンター第2公民館でやることにしました。ここ令和2年、3年、4年とできていませんでした。4年ぶりの復活となります。まだ気になるところがあるので、期日を若干短縮して2泊3日で希望者を募集しているところです。

**高野委員:** 中学生もこういうところに来られるといいですね。

**白井校長:** 聖山に行った後、博物館へ行きました。博物館ボランティアの方がいて全然こちらでお願いもしていないのに案内をしてくれました。D51の前でいろいろ説明してくれました。ナイトミュージアムの案内チラシも渡されました。1年生の男の子3人くらいその後行って戦闘機の掃除とか、いろいろボランティアに参加していたと聞きました。そういった経験は面白かったなと思いました。

**白井次長:** それに関連して、おみっこのキャンプのときも博物館のナイトミュージアムが行われていてボランティアの方々がありました。観光課長から陳列してある戦闘機の掃除をできたら子供たちにお願ひしたとありました。子供たち一生懸命になってゴシゴシ石鹸付けて、デッキブラシで何回も擦ったりしていました。こちらが思っているよりも本当に一生懸命やってくれたことは、すごく良かったかなと思います。

**白井校長:** 今日避難訓練があります。火事を想定した訓練ですが、今の子供たちが、どれだけ火の怖さを理解しているかと思います。映像で火事などにより家が燃えているのを見る経験はしているかと思います。IHになったり、マッチが擦れなかったり、焚火をやった経験がないとか、火の怖さをどれだけ知っているか。熱いとかそういうことはどこで経験しているのかなとか、水の怖さを経験するような場合はどういうところであるのかと思います。

そういう経験の場が今の子供たちにどれくらいあるのかなと思います。積極的に学校とか教育委員会とかで連れ出して、そういう経験をしていか

ないと思います。

**教育長:** 学校の水泳の授業で着衣泳はやっていますか。頭の中に入れておいてください。着衣泳はあった方がいいと思います。保護者の皆さんから出てきている意見はやはり大事だし、小学校 PTA から出ていることについても教えてください。

はい、ありがとうございました。事務局から連絡事項をお願いします。

## 2) 事務局から

### ・ 9 月定例議会：一般質問通告事項について

**白井次長:** 一般質問通告事項につきまして、教育委員会としては 6 番の宮川秀俊議員の生成 AI (チャット GPT) の活用について質問があります。それから、7 番の清水議員から基金の活用と今後の見通しについてあります。教育基金の積み立てについてというところで教育長答弁ではありません。清水議員は、基本的に学校を今後どうしていくのかということそれについては基金も増額していった方がいいのではないのかという意味合いの質問のようです。

### ・ 市町村教育委員会研修総会について (10 月 27 日：松本市)

**白井次長:** 市町村教育委員会の研修会についてです。10 月 27 日の金曜日に松本市を会場に行われます。午前 9 時半から受付で開会式の後講演があります。この講演は、誰でも聞くことができます。午後は分散会になります。分散会の後もう 1 回戻ってきて全体会ということになります。分散会について希望をお知らせいただければと思います。

### ・ 松本山雅ホームタウン事業について

#### 児童生徒試合観戦事業(9 月 24 日・11 月 5 日)

**白井次長:** 8 月 10 日に山雅の事務所に行って打ち合わせを行いました。村民運動会については 10 月 22 日に開催し、そこでは山雅から元選手とキャラクターが来て盛り上げていただけることが決定しております。

それから児童生徒の試合観戦事業ということで、9 月 24 日と 11 月 5 日の日曜日午後 2 時キックオフで予定しております。来週早々に小中学校にチラシを出して、児童生徒それから保護者の方も同席いただけるので募集して実施していこうと思っております。

別添で松本山雅緑化大作戦実施のお知らせについて付け加えさせていただきました。これは松本山雅が主体として行うこととなります。ホーム

タウンになっているところに山雅のスタッフが来て地域のサポーターと一緒に、ポスターを配ったり、地域の清掃活動をしたりする事業が明日行われます。午後2時半から3時半になります。集合場所は村役場です。配布エリアを村役場の周辺ということで実施されます。ご都合が良ければ参加いただければと思っております。以上です。

**教 育 長:** ありがとうございました。

### 3) 次回予定

次回の定例教育委員会の日程      10月4日（水）      午前9：30～

## 六 閉会

**教 育 長:** 以上をもちまして9月の定例教育委員会を閉じます。